

井小だより

浜松市立井伊谷小学校
学校だより 9月号
令和3年 9月 1日

元気でさわやかな2学期を始めよう

温暖化の影響があつてか、8月が明けても暑い日が続きますが、それでも朝夕に心地よいさわやかな風を受けると、少しだけ秋を感じます。

1学期の終わりには、学校では体験できない探究を夏休みにしようと呼び掛けました。2学期になって子供たちの声に耳を傾けると、オリンピック観戦に夢中になっていたことや身近な自然との出会いで感動したこと、生き物の飼育体験など、充実した貴重な体験があったことを語ってくれて、聴いている私も楽しい気持ちになりました。

始業式では、5・6年生が頑張った夏休み直前の30分間回泳や水泳大会のこと、2学期の生活目標や学習目標について話題にしました。

2学期に頑張りたいことを子供たちに聞くと、学習発表会に向けた表現活動や陸上大会での自己新記録更新、漢字や計算力の習得と向上など、前向きな目標を掲げていました。秋は学習にも集中できる時期です。学習も継続した努力が大切です。児童へは“自分から”学び高め合うことや“自分から”かわり認め合うこと、“自分から”挑戦し鍛え合うことを日常の実践の継続で取り組めることが大切であることを伝えました。ご家庭でも励ましてあげてください。

2学期は、様々な行事や興味深く臨める学びの場が待っています。

1学期のスタートでも言いましたが、始業式では、「目標は言葉にして宣言した方が実現するんだよ。」という話をしました。この日の学級活動では、児童一人一人が2学期の目標を宣言しました。子供たちが頑張りたい気持ちを大切にしながら、教職員一丸となって頑張っていきますので、2学期もよろしくお祈りします。

<校長 山本俊行>



【2学期始業式の様子】



ゲーム、夢中になりすぎていませんか？

夏休み中の生活で、ゲームに夢中になっていることはないでしょうか？ゲームは楽しく、得られるものも多いですが、やりすぎには注意が必要です。ゲームに夢中になりすぎて昼と夜が逆転した生活になったり、家の人に注意されてイライラしたり、食事の時間も削られたりする状態はありませんか？こうした症状があるとゲーム依存症の疑いがあります。ゲーム依存症は、2019年に世界保健機関(WHO)が心の病気と位置付けました。次に示すのは、インターネットゲーム障害スケールの日本語版(IGFS-J)をもとに作成されたアンケートです。ご家庭での話題に活用してみてください。

ゲームやりすぎかなと思ったら、チェックしてみよう！

この1年のうちに.....

- ゲームができる時のことばかりを考えていた時期がある。
- もっとゲームをしたくて、不満に感じたことがある。
- ゲームができなくて、つらいと感じた。
- ほかの人から何度もゲームの時間を減らすように言われたのに、減らせなかった。
- 嫌なことを考えなくてすむよう、ゲームをした。
- 自分のゲーム行動がもたらす結果について、だれかと口論した。
- ゲーム時間についてウソをついたことがある。
- ゲームで頭がいっぱいになり、ほかの趣味や活動への興味がなくなった。
- ゲームが原因で、家族や友だちとぶつかった。



※該当チェック 0～1項目：通常のゲーマー、 2～4項目：リスクの高いゲーマー
5項目以上：依存症の疑いがあるゲーマー

★ オリパラ事業 ★

今年の夏休みには、オリンピックが開催されました。また、パラリンピックも開催中です。わくわく・ドキドキしながら観戦した人も多かったのではないのでしょうか。

本校は、昨年度から「スポーツ庁委託事業 オリピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」に参加し、今年度1学期に5つの活動を行いましたので、紹介をさせていただきます。



2学期にも、4つの活動を予定しています。

- アスリートによる陸上部指導
- ボッチャ選手による講話・ボッチャ体験
- 大学職員によるスポーツ SDGs 講話
- 義足アスリートによる講話

※ これらの活動を通して、スポーツの楽しさを再認識したり、国際的な視野をもったり、障がい者理解を深めたりすることができるように取り組んでいます。

9/1より再開します。
ほぼ毎日更新！

井伊谷小の最新情報をお伝えします！

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/iinoya-e/>



